CSVファイルからアプリを作成する

CSVファイルを読み込んで、新規でアプリを作成できます。アプリの作成と同時に、ファイル内のデータも取り込めます。

補足

同様の手順で、TSVファイルまたはTXTファイルからアプリを作成することも可能です。

Excelファイルからデータを読み込む場合は、Excelファイルからアプリを作成するを参照してください。すでに作成しているアプリにCSVファイルのデータを読み込む場合は、[レコードの一括登録/更新] ファイルを読み込むを参照してください。

CSVファイルからアプリを作成する流れ

STEP1. CSVファイルやそのコピーファイルを手元に用意します。



STEP2. kintoneで読み込めるようにCSVファイルを整形し、保存します。



STEP3. ウィザードにしたがって、ファイルを読み込みます。

CSVファイルからアプリを作成する手順

kintoneで読み込めるように、CSVファイルを整形します。整形したファイルは、パソコンに保存してください。

ヒント

CSVファイルを整形するときのポイント:

- CSVファイルでは、先頭のセル(A1)からデータが入力されている必要があります。
- アプリ作成できるのは、最大100MB、500列、10万行までのファイルです。
 kintoneでは、500個(500列)までのフィールドのアプリを作成できます。
 100MBや10万行を超える場合は、複数のファイルに分けることを検討してください。1つ目

のファイルでアプリを作成したあと、残りのデータはあとから<u>ファイル読み込みの機能</u>で追加登録できます。

- 日本語と英数字以外の文字が含まれている場合、文字コードに「UTF-8」を指定してファイルを保存してください。
- 数値を読み込む場合、次の記号は使用できません。 (桁区切り記号)

¥(円記号)などの通貨記号

• 日時項目を読み込む場合、CSV形式のファイルでは、年月日や時刻は次のいずれかの 形式で入力します。

YYYY-MM-DD(例:2014-12-20)
YYYY/MM/DD(例:2014/12/20)
YY/MM/DD(例:14/12/20)
YY/MM/DD(例:14/12/20)
MM/DD/YYYY(例:12/20/2014)
MM/DD/YY(例:20/12/2014)
DD/MM/YYYY(例:20/12/14)
HH:MM AM/PM(例:11:20 PM)

HH:MM(例:23:20)

1桁の月、日、時刻は、1桁と2桁のいずれの形式でも入力できます。 たとえば「8」は、「8」または「08」と入力します。 記載例:

	A	
1	フィールド名	
2	2014/1/1 11:02 PM	
3	2014/01/01 23:02 PM	
4	14/1/1 23:2	
5		

- 氏名、組織名、またはグループ名を読み込む場合: 次のいずれかの種類のフィールドとして読み込めます。
 - 文字列
 - 選択肢タイプ(ラジオボタンまたはドロップダウン)
 - ユーザー選択(kintoneの利用ユーザーから1人または複数人を選択するフィールド)
 - 組織選択(組織を選択するフィールド)
 - グループ選択(グループを選択するフィールド)
- ユーザー選択、組織選択、またはグループ選択フィールドとして読み込む場合、次の文字 列を入力します。
 - ユーザー選択フィールドの場合:ログイン名
 - 組織選択フィールドの場合:組織コード
 - グループ選択フィールドの場合:グループコード
- 1つのフィールドで複数のユーザー、組織、またはグループを選択する場合は、改行で区切って入力します。

ユーザー選択フィールドの記載例:

氏名 noboru_sato misaki_kato takuya_suzuki

kintoneのトップページのアプリの欄で + をクリックします。



[CSVを読み込んで作成]をクリックします。



[作成を開始する]をクリックします。



チェック項目を確認してチェックしたあと、[アップロードへ進む]をクリックします。



[参照]をクリックし、読み込むファイルを選択します。



読み込んだファイルの内容が「ファイルの内容」に正しく表示されていることを確認します。 文字が化けている場合、「文字コード」を変更します。 列が正しく区切られていない場合、「区切り文字」を変更します。



自動選択されたフィールドタイプに問題がないか、確認します。 フィールドタイプは、CSVファイルの内容をもとにおすすめのものが自動的に選択されています。基本 的に変更は必要ありません。 アプリに読み込まないCSVファイルの項目は「(この列を無視する)」を選択します。

3 アプリの作成を開始する				
フィールドタイプを設定して、画面の一番下にある「作成」ボタンをクリックします。 ただし、フィールドタイプの設定は必須ではありません。自動的に、おすすめのフィールドタイプが選択されています。				
フィールド名	フィールドタイプ			
案件担当者	ドロップダウン	~		
顧客名	文字列 (1行)	~		
ご担当	文字列 (1行)	~		
見込み時期	日付	∨ YYYY/MM/DD (2018/12/31) ∨ •		
確度	ラジオボタン	~		
コード	ドロップダウン	~		

補足

フィールドタイプを変更する際、一部選択できないフィールドタイプがあります。詳細は<u>選択できないフィールドのページで</u>案内しています。

画面右下の[作成]をクリックします。



完了したアプリを確認します。



アプリ名やアイコンは、アプリの設定画面から変更できます。

アプリの設定画面を開いて、「フォーム」画面でフィールドの位置を変更することもできます。 アプリの作成に失敗した場合は、エラーの対処方法のページを確認してください。